聖オーガスティン宣教会
The Missionary Order of St. Augustine

2026 年 11 月 8 日（日）

入堂：　**特祷　聖霊降臨後第 24 主日**　**（特定 27、A 年）**

聖歌 30　神よ、あなたは悪魔の仕業を滅ぼし、わたしたちを神の子、永遠の命を継ぐ者とするためにみ子を世

奉献：　に現してくださいました。どうかこの希望を持つわたしたちは、主が清くあられるように自分を清く

聖歌 503　保ち、み子が力と大いなる栄光をもって再び来られる時、み姿に似る者とされ、その栄光に満ちた

退堂：　永遠のみ国にいられるようにしてください。父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておら

聖歌 449　れる主イエス・キリストによってお願いいたします。　**アーメン**

旧約聖書　アモス書 第 5 章 18 節～24 節

18 災いだ、主の日を待ち望む者は。主の日はお前たちにとって何か。それは闇であって、光ではない。
19 人が獅子の前から逃れても熊に会い、家にたどりついても、壁に手で寄りかかるとその手を蛇にかまれるようなものだ。20 主の日は闇であって、光ではない。暗闇であって、輝きではない。

21 わたしはお前たちの祭りを憎み、退ける。祭りの献げ物の香りも喜ばない。22 たとえ、焼き尽くす献げ物をわたしにささげても、穀物の献げ物をささげても、わたしは受け入れず、肥えた動物の献げ物も顧みない。23 お前たちの騒がしい歌をわたしから遠ざけよ。竪琴の音もわたしは聞かない。24 正義を洪水のように、恵みの業を大河のように、尽きることなく流れさせよ。

詩編　第 70 編　*Deus, in adjutorium*

1 神よ、救いに来てください‖　主よ、急いでわたしを助けてください
2 わたしの命をねらう者は恥をさらし‖　災いを喜ぶ者は見捨てられて恥を受ける
3 「それ見たことか」とあざける者は‖　恥をさらして退く
4 あなたを求めるすべての人はあなたのうちにあって喜び楽しみ‖　救いを尊ぶ人は「神は偉大な方」といつもたたえる
5 わたしは弱く貧しい者‖　神よ、わたしのもとに急いでください
6 あなたはわたしの助け、また救い主‖　主よ、ためらわないでください

使徒書　テサロニケの信徒への手紙 Ⅰ　第 4 章 13 節～18 節

13 兄弟たち、既に眠りについた人たちについては、希望を持たないほかの人々のように嘆き悲しまないために、ぜひ次のことを知っておいてほしい。14 イエスが死んで復活されたと、わたしたちは信じています。神は同じように、イエスを信じて眠りについた人たちをも、イエスと一緒に導き出してくださいます。15 主の言葉に基づいて次のことを伝えます。主が来られる日まで生き残るわたしたちが、眠りについた人たちより先になることは、決してありません。16 すなわち、合図の号令がかかり、大天使の声が聞こえて、神のラッパが鳴り響くと、主ご自身が天から降って来られます。すると、キリストに結ばれて死んだ人たちが、まず最初に復活し、17 それから、わたしたち生き残っている者が、空中で主と出会うために、彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられます。このようにして、わたしたちはいつまでも主と共にいることになります。18 ですから、今述べた言葉によって励まし合いなさい。

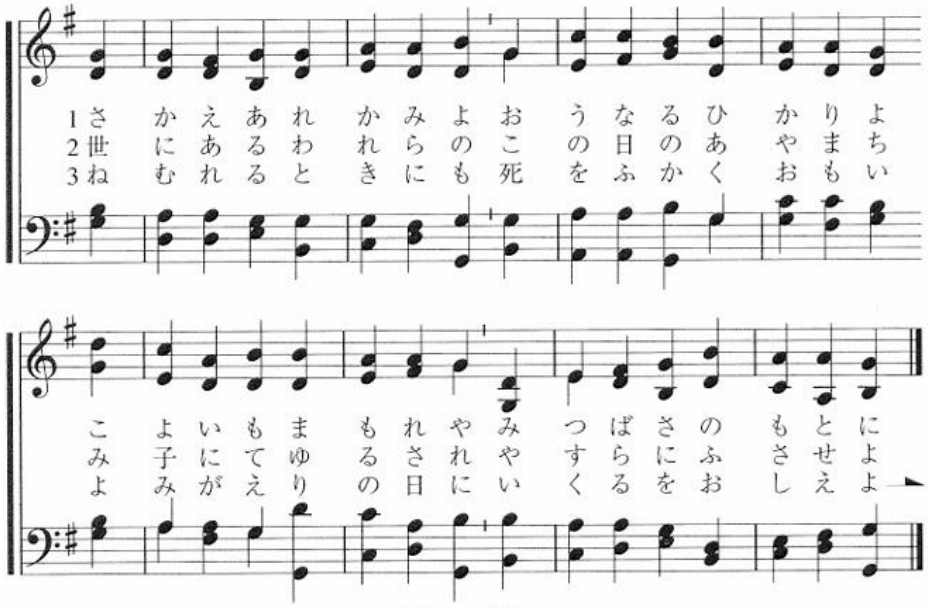
福音書　マタイによる福音書　第 25 章 1 節～13 節

1「そこで、天の国は次のようにたとえられる。十人のおとめがそれぞれともし火を持って、花婿を迎えに出て行く。2そのうちの五人は愚かで、五人は賢かった。3愚かなおとめたちは、ともし火は持っていたが、油の用意をしていなかった。4賢いおとめたちは、それぞれのともし火と一緒に、壺に油を入れて持っていた。5ところが、花婿の来るのが遅れたので、皆眠気がさして眠り込んでしまった。6真夜中に『花婿だ。迎えに出なさい』と叫ぶ声がした。7そこで、おとめたちは皆起きて、それぞれのともし火を整えた。8愚かなおとめたちは、賢いおとめたちに言った。『油を分けてください。わたしたちのともし火は消えそうです。』9賢いおとめたちは答えた。『分けてあげるほどはありません。それより、店に行って、自分の分を買って来なさい。』10愚かなおとめたちが買いに行っている間に、花婿が到着して、用意のできている五人は、花婿と一緒に婚宴の席に入り、戸が閉められた。11その後で、ほかのおとめたちも来て、『ご主人様、ご主人様、開けてください』と言った。12しかし主人は、『はっきり言っておく。わたしはお前たちを知らない』と答えた。13だから、目を覚ましていなさい。あなたがたは、その日、その時を知らないのだから。」

予定

11/15：聖霊降臨後第 25 主日［ゼパ 1:7, 12–18、詩 90:1–12、Ⅰテサ 5:1–10、マタ 25:14–
11/22：降臨節前主日［エゼ 34:11–20、詩 95、Ⅰコリ 15:20–28、マタイ 25:31–46］

祈りましょう
- 復活教会（ﾊﾝﾁﾝﾄﾝ･ｳｪｽﾄﾊﾞｰｼﾞﾆｱ）、諸聖徒教会(ﾎﾉﾙﾙ)
- 教区のウィメンズミニストリーリーダー



1 栄えあれ 神よ　王なる光よ
今宵も守れや　みつばさのもとに

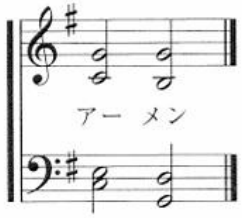
2 世にあるわれらの　この日の過ち
み子にて赦され　やすらに伏させよ

3 眠れる時にも　死を深く思い
よみがえりの日に　生くるを教えよ

4 まぶたをとざして　み腕に憩わせ
目覚めて仕える　み力をたまえ

5 眠れぬ床にも　み座に思い馳せ
悩ます悪夢に　打ち勝たせたまえ

6 造られしものよ　み使いもすべて
父 子 聖霊を　ほめたたえまつれ　アーメン

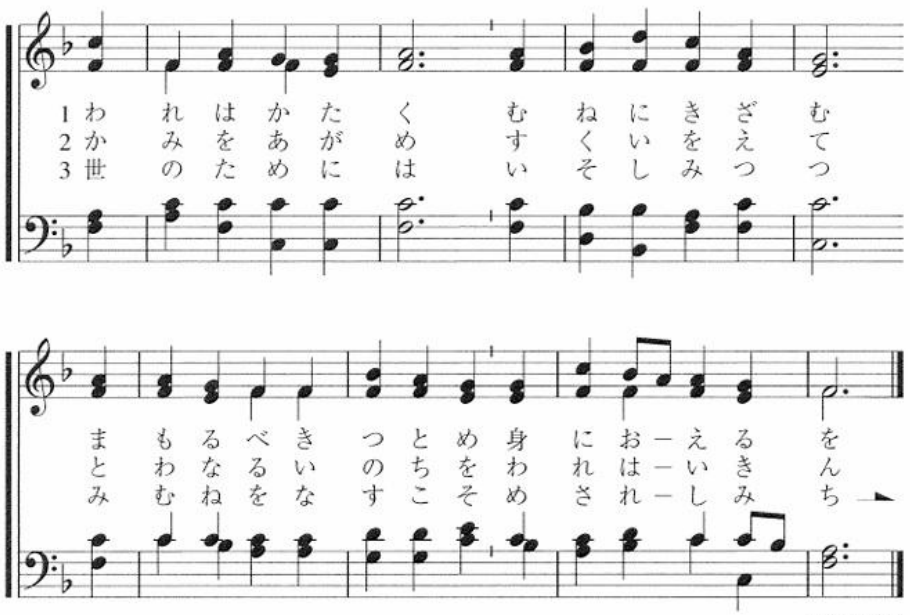


8888 (LM)

詩4：2−9　詩3：6　ロマ14：8−9　1テサ5：10

Glory to thee, my God, this night
Thomas Ken (1637-1711)

TALLIS' CANON
Thomas Tallis (1505?-1585)



6686 (SM)

1 われは堅く　胸にきざむ
守るべきつとめ　身に負えるを

2 神をあがめ　救いを得て
永遠なる命を　われは生きん

3 世のためには　いそしみつつ
み旨をなすこそ　召されし道

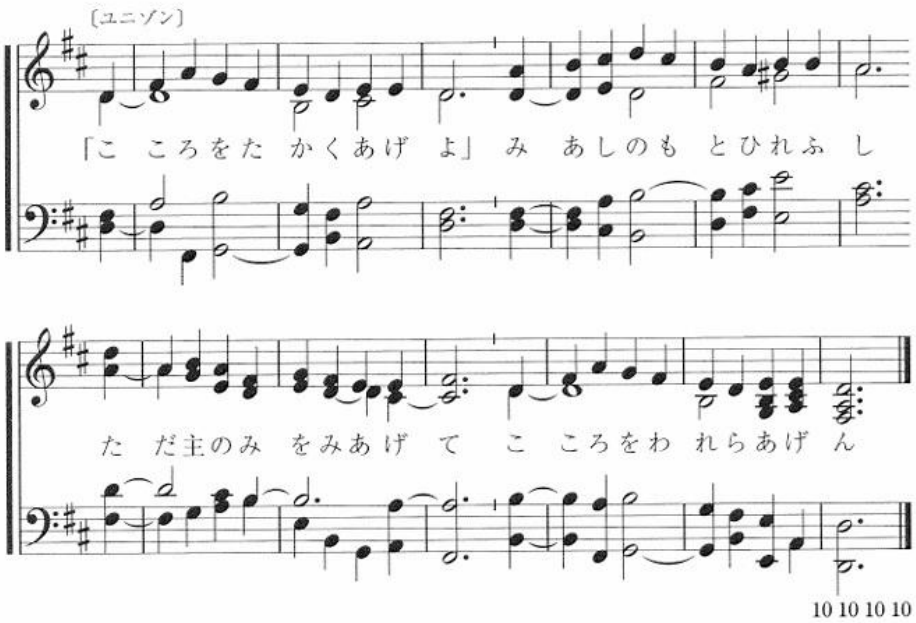
4 絶えず祈り　ただ主にのみ
寄り頼むことを　得させたまえ

5 主よ み前に　歩む われの
み国への備え　なさせたまえ

詩119：40、54−56　1テモ6：11−16

A charge to keep I have
Charles Wesley (1707-1788)

NEWLAND
Henry John Gauntlett (1805-1876)



1 「心を高く上げよ」　み足のもと ひれふし
ただ 主のみを見あげて　心を われら上げん

2 疑いと罪の沼　くずれさりし愛より
主よ 引き上げたまえや　心を 今 みもとに

3 すべてを主から受けて　すべてを主にぞ献ぐ
今たもう み恵みも　ふたたび主の み前に

4 終わりの日 鳴りひびく　「心を高く上げよ」
われらともに応えん　「心を神に高く」

哀3：41　コロ3：1－4　ロマ7：7－25　代上29：14　1テサ4：15－17

Lift up your hearts!
Henry Montagu Butler (1833-1918)

SURSUM CORDA
Alfred Morton Smith (1879-1971)